

マユミニジキマワリの記録

益本仁雄

Kimio MASUMOTO: Record of *Cyriogeton mayumiae* MASUMOTO (Coleoptera, Tenebrionidae, Amarygmini)

マユミニジキマワリ *Cyriogeton mayumiae* MASUMOTO, 1981, は台湾中部の山地に分布するやや小型のキマワリ類で、頭胸背は青藍色、上翅は青緑色で、やや虹色をした赤紫色の大紋を有する美しい種である。Bonn の採集家 J. KLAPPERICH が、1977 年に阿里山で採集した個体を正基準標本として記載された。実はそれより 50 年前に、鹿野忠雄博士によって能高山、卑南主山、八通関などで採集されていたが、不明種のまま放置されていた。

今般、国立科学博物館、上野俊一博士らによる台湾の高山帯における動物調査の際、新たに 2 頭の本種が得られたので報告する。いずれも昼間に飛翔していたものだ、ということである。データは次のとおり。

1 ♂, Tz'u-kao-tung-feng, 3,150 m, Hsüeh-shan Mts., T'ai-chung Hsien, 30-VI-1989, Shun-Ichi UENO leg.

1 ♀, Tz'u-kao-tung-feng, 3,150 m, 30-VI-1989, Mamoru OWADA leg.

本種は、標高 1,800-3,200 m に生息し、ほかのキマワリ類とちがって複眼が大きくなり、昼間に樹上で活動しているグループである。近縁種は北ベトナムに 2 種 (いずれも未記載種) あって、台湾の山地性の甲虫と北ベトナムに分布するものとの関連を証明するものひとつである。

なお、本種の属については、*Cyriogeton* から *Plesiophthalmus* に移すべきであると考えている。